



1 今月の活動

ジメジメした暑さが続きます。季節感がな
いからでしょうか、年末の慌ただしい雰囲気
を味わうことなく新年を迎えました。今
年は東ティモール一色の本格的な協力隊活
動の一年になりそうです。

12月は街全体がクリスマスモードです。
スーパーでの飾り付けやおもちゃコーナーの
増設、各地にクリスマスツリーが設置される
などは日本と同じに感じます。

一方で、新年は綺麗な花火で迎えました。年越しの少し前からカウントダウンのように
花火が打ち上げられ、年明けには至る所で花火が鳴り響きました。



スーパーのサンタさんと 新年を祝う花火

2 配属先の活動

(1) 要請内容の紹介

今回、私は協力隊の中でも珍しい「手工芸」という職種で赴任しています。手工芸と一
言で言っても東ティモールの様々な工芸品である「竹編み、織物、彫刻、彫金、陶芸など」
が含まれており、それらの全般的な技術支援、現地の方の技術向上を支援し、最終的には
それらを産業として定着させ、生産者の収入増が目標になります。

(2) 自分の特技と今後の活動

私は実家が竹屋を営んでいるという関係で竹細工を武器にして赴任してきました。残念
なことに、現地には日本と同じような竹細工はありませんでしたが、要請内容にもあるよ
うに、自分が取り組むことは工芸品全般が含まれています。どの分野に転んでも手作り品
を作ることは同じということで、客観的な視点からデザインなどのアドバイスをを行い、商
品に付加価値をつけ、広げていく活動をしたいと考えています。



東ティモールでも竹を探して、切って、運んで、割って、作り始める



みんなで作った竹のテーブル、流しソーメン、作り始めカゴ

(3) 実際の活動

配属先で求められている活動は、得意な工芸品分野の生産者グループへの指導ですが、今現在、政府の予算がないとの理由で、生産者グループ自体の活動自体がストップしています。配属先では「予算がつけば本格的な活動が待ってるぞ」と言われていますが、実際どうなるかは不明です。

そこで最初の取り組みとしては、東ティモールにある工芸品の情報を集約し、今後FacebookやInstagramなどのSNSを使って情報発信していこうと準備を進めています。

3 国際ボランティアデー



約300名が参加した海沿いのゴミ拾い

12/5は何の日をご存知ですか？

国連が定めた「国際ボランティアデー」です。

JICAでは青年海外協力隊が中心となり、国連のボランティア（UN）、韓国のKOICA、アメリカのPeace Corps、ドイツのGiZで共同イベントを開催しました。

イベントでは、スローガンである「Mudansa husi ita(変化はあなたから)」をテーマにしたダンスや歌、それぞれのブースでの活動の紹介や海沿いのゴミ拾いを実施しました。いつになく日差しの強い中、現地の多くの方を含む約300人の方が足を運んでくれました。残念なことに、今回ゴミ拾いした海岸沿いの公園は日常的にゴミが落ちています。

JICA代表としてスピーチした小林隊員の「海外ボランティアが起こそうとする小さな変化と一緒に大きくしよう。ティモールの土地はティモール人のものだから、あなたがやれではなく、私たちから行動する思いを持って欲しい」というスピーチに共感し、現地の方に伝えたいメッセージとして、とても印象に残りました。《第3号終わり》



協力隊の参加者